

多良木高校野球部が1月8日に、今年も甲子園出場を目指して、必勝・安全祈願を行いました。青井阿蘇神社でお祓いをした後、安全面を考慮し、人吉市の曙橋下より多良木町のえびすの湯までの約25キロを、約2時間で参加した26名が全員完走しました。スタート時には土砂降りで、部員の健康面が心配されましたが、体調を悪くする選手も事故もなく、無事にゴールしました。それからえびすの湯で冷えて疲れ切った身体を癒し、高校に帰りセミナーハウスで保護者会(若杉敏広会長)に準備していただいた『勝カレー』をご馳走になりました。

次のページへどうぞ



霧のみや 野はらにおくと 詠ふらし
うき身も終の 宿ぞこなる

観音堂は、あさぎり町岡原最古の木造建築物です。ご本尊は聖観音座像で、江戸時代の作とされています。堂宇と厨子は県指定の文化財になっています。脇に不動明王と毘沙門天が祀られています。



「くましえん ひな市」のお知らせ



球磨支援学校中学部・高等部では、将来の働く力を培うことを主な目的として、作業学習に取り組んでいます。今回は、2月2日（木）に錦町のサンロードシティー店で販売学習「くましえんひな市」を開催し、作業学習で制作した製品を販売します。

販売製品は、紙工班【4月始まりのカレンダー、タペストリー、御祝い封筒

など】、農園芸班【花苗、寄席植え、土など】、窯業班【皿、茶碗、湯のみなど】、工芸班【雛人形、ミニポーチなど ※全てフェルト製】、木工班【テーブル、盆、コースターなど】です。全て手作りで、素敵な製品にできあがっています。

販売学習を通して、地域の方との触れ合いも大切にしていきたいと思っています。お誘い合わせの上、ぜひご来店ください。

期日：2月2日（木） 場所：サンロードシティ店（錦町）

時間：9時30分から13時30分まで

(※中学部は10時20分から) (原稿・写真提供：球磨支援学校)

暖談なあゝ ◆お正月の風習のひとつ、鏡開き。ぜんざいにしていただくお餅は、子どもたちの楽しみです◆床の間などに飾っている間は神様が宿っておられるので、本来は十一日に下げて切り分けます。「切る」を避けて「開く」にしたのが由来◆ただ、半月近く飾っていると、表面にひびが入ったり青かびが生えたり。生活習慣の変化もあつて早めに開く家庭も増えているとか◆みそ、醤油、酒など私たちの食生活とは切っても切れないこうじかび、なんて反論も出そうですけど、青や赤、黒の不気味な色は少々削り落としてもねえ◆かびた部分を捨てるのを極力減らすことは食べ物を大切に作る基本ですし、お米の神様はむしろ喜ばれるというのはこじつけ過ぎますか◆熊本にとしては、まさに悪夢のように過ぎ去った昨年。新しい年こそ希望に満ちた、それこそ「神ってる一年に」と流し語を拝借、お願いしましょう。(X)

新聞記事を楽しむ!

～記事を読み絵を描いてみよう～



机の上に、新聞記事を写す原稿用紙に加え、新たにトンボ4 B鉛筆と画用紙と36色のコピックペンを置くように買い揃えた。今まで連載された夏目漱石「吾輩は猫である」の記事は最終回まで切り抜き読むだけだった。ところが、連載中の「坊っちゃん」第1号をハサミで切り抜き始めた時、坊っちゃんの似顔絵がとても可愛く描かれているのに気づいた。それを見た瞬間、真似て書いてみたくなり、つい色鉛筆でノートに書いてみた。上手くは描けていないが、色を塗ってみると少しは見られるようになった気がした。「坊っちゃん」の記事が切っ掛けで、絵が描かれてある日の記事を読みながら、絵も真似て描くようにした。難しい日もあるが、楽しい読み方の一つを発見したようで、新聞記事の読み方と見方が広くなった。

また、本や記事を読み続けて少し飽きた時、鉛筆削りでゆっくり研ぎ気分を変える楽しみもできた。そんな思いの机に新聞を広げると、【24日熊日記事《江川紹子の視界良好》】『「勁圃

するポピュリズム』事実には反する情報でも、面白ければ、あるいは自分の志向と合致すれば許される。そんな風潮の中で、偽情報はどんどん広がる。腹に心地よく響く話を大衆は求めているのであって、真偽はどうでもよい、ということか。こんな時代だからこそ、情報の真偽にはこだわりたい。そして、腹ではなく、一人ひとりがしっかり頭を使って考えようではないか」の記事と、【24日熊日記事】、「『イチロー、故郷であいさつ』人との比較でなく、自分の中でちょっとだけ頑張ってみる。続けると思ってもない自分になる」との記事に注目した。記事から、面白ければいい大衆情報が台頭している中で、自ら考えて情報の真偽を判断できるようにしていく大切さを感じた。今回、「坊っちゃん」連載記事から気づいた、「記事から絵を描く」記事の活用方を少し頑張ってみようと思った。判断力が広がるような気がする。

(原稿提供：多良木高等学校 川北禎一先生)



新聞記事感想コンクール表彰

入選作品紹介

普段、たまにしか新聞を読まないけど、今回のコンクールをきっかけに新聞の記事に触れ、伝えることの重要性や難しさを再認識しました。今後は新聞を読む時間を少しずつ増やしていければと感じました。



日本選手団が帰国

湯前中学校3年 黒木 美咲

今年の夏は四年に一度のオリンピックがありました。私は、今回初めてちゃんとオリンピックを見ました。その中で印象に残った選手が二人います。

一人は、卓球の伊藤美誠選手です。伊藤選手は、私達と同じ年なのにオリンピックという世界の舞台で闘っていました。まだ中学三年生なのに日本を代表し、世界で堂々と闘っている姿が私達にどこまでも何でも出来るという励みになりました。二人目は、吉田沙保里選手です。吉田選手は銀メダルを獲得されたのに悔し涙を流していました。何事も頂点を目指してやっている姿を見て私も最後まであきらめない強い根性を持ちたいと思いました。

四年後は、私達が住んでいる日本でオリンピックが開催されます。四年後私は、十八歳です。私達が日本を支える番にどんどん近づいています。日本が素晴らしいと思われよう、自分も皆を支える人になりたいです。



多良木警察署だより



厳冬期の交通事故防止について

厳しい寒さが続きますが、安全運転を心がけましょう

1 道路の凍結に注意

朝晩の冷え込みが厳しくなり、積雪や道路凍結が予想されます
早めのタイヤ交換や、タイヤチェーンの装着を！
路面状況が刻々と変化することを認識し、スピードの出しすぎ
などに注意しましょう！！

2 前照灯の点灯 ⚠

冬は日照時間が短くなります
夜間はもちろん、朝夕や悪天候時にも前照灯
を点灯し、事故防止に努めましょう!!



(原稿提供：多良木警察署)

次回の発行日は2月11日(土)予定です。お楽しみに!!